

## テラダセルプラハンデーポンプ

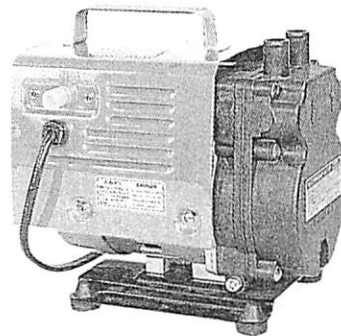
### 取扱説明書 / 保証書

形式

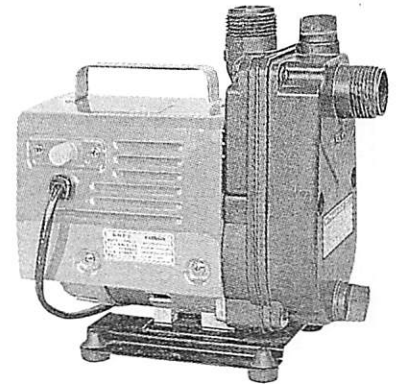
HP - 50

HP - 100

HP - 200



HP - 50



HP - 100

もくじ

安全上のご注意 .....	1~4
付属品 .....	4
各部の名前とその働き .....	5
お使いになる前に .....	6~7
据え付け .....	8
運転のしかた .....	9
お手入れと点検 .....	10
修理を依頼する前に .....	10~11
仕様 .....	12
保証とアフターサービス .....	12
保証書 .....	13~14
営業所一覧表 .....	15

- このたびは、テラダセルプラハンデーポンプをお買い上げいただきましてありがとうございました。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。



# 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**⚠ 警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

**⚠ 注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

## 絵表示の例

-  △記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
-  ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
- 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合はさし込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

## ⚠ 警告



- ぬれた手で電源プラグに触れないこと



感電の原因になります。



- 修理技術者以外の方は分解したり修理や改造をしないこと



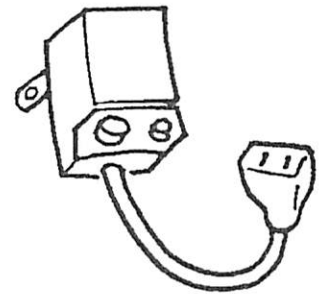
異常動作をしてケガをしたり、感電・火災の原因になります。

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告



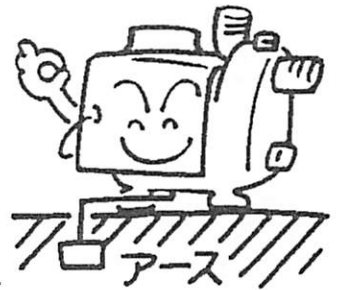
- 専用の漏電しゃ断器を設置すること



漏電のときに感電する恐れがあります。



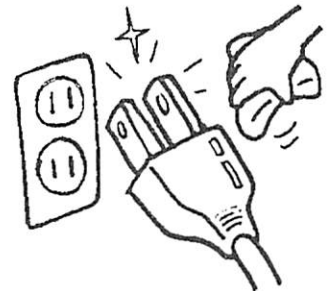
- アース接続を必ず行うこと  
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。（電気工事業者による第3種接地工事が必要です。）



アース接続が不完全な場合は、感電の原因になります。



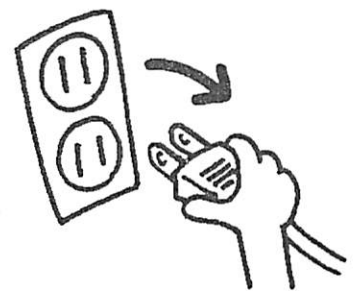
- 電源プラグの刃の周囲にはこりが付着していないか定期的に確認し、接続は刃の根元まで確実に差し込むこと



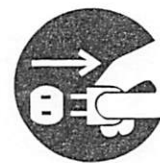
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電、火災の原因になります。



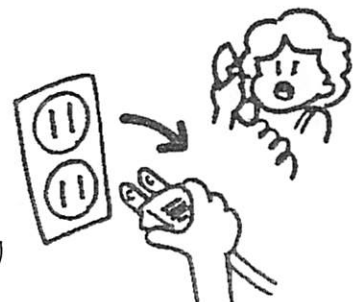
- 掃除や点検をするときは、電源プラグを抜くこと



感電したり、ケガの原因になります。



- 動かなくなったり、異常がある場合はすぐ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に必ず点検、修理をご依頼ください



感電や漏電、ショートなどによる火災の恐れがあります。

# 安全上のご注意

## ⚠ 注意

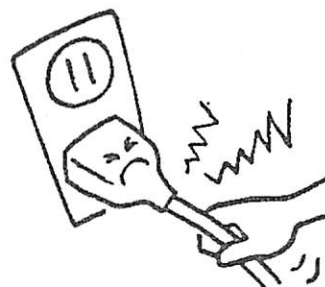


### ●電源コードを傷つけないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものをのせたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し感電・火災の原因になります。



### ●電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと 必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードをひっぱるとコードが傷つき感電・火災の原因になります。



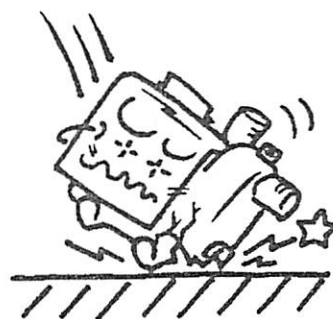
### ●50℃以上(HP-200は40℃以上)のお湯、泥水、ガソリン、灯油、油、化学薬品には使用禁止

ポンプの故障原因になります。



### ●ポンプは樹脂でできていますのでたたいたり落したり、火気に近づけないこと

感電や火災の原因になります。



### ●電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長線の使用やタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

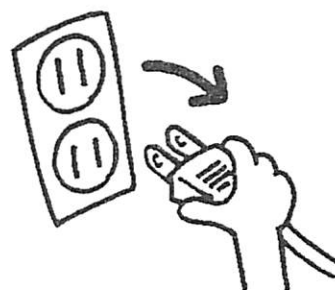


## 安全上のご注意

### ⚠ 注意



- 使用されないときは、電源プラグをコンセントから抜くこと



絶縁劣化による漏電、火災の原因になります。

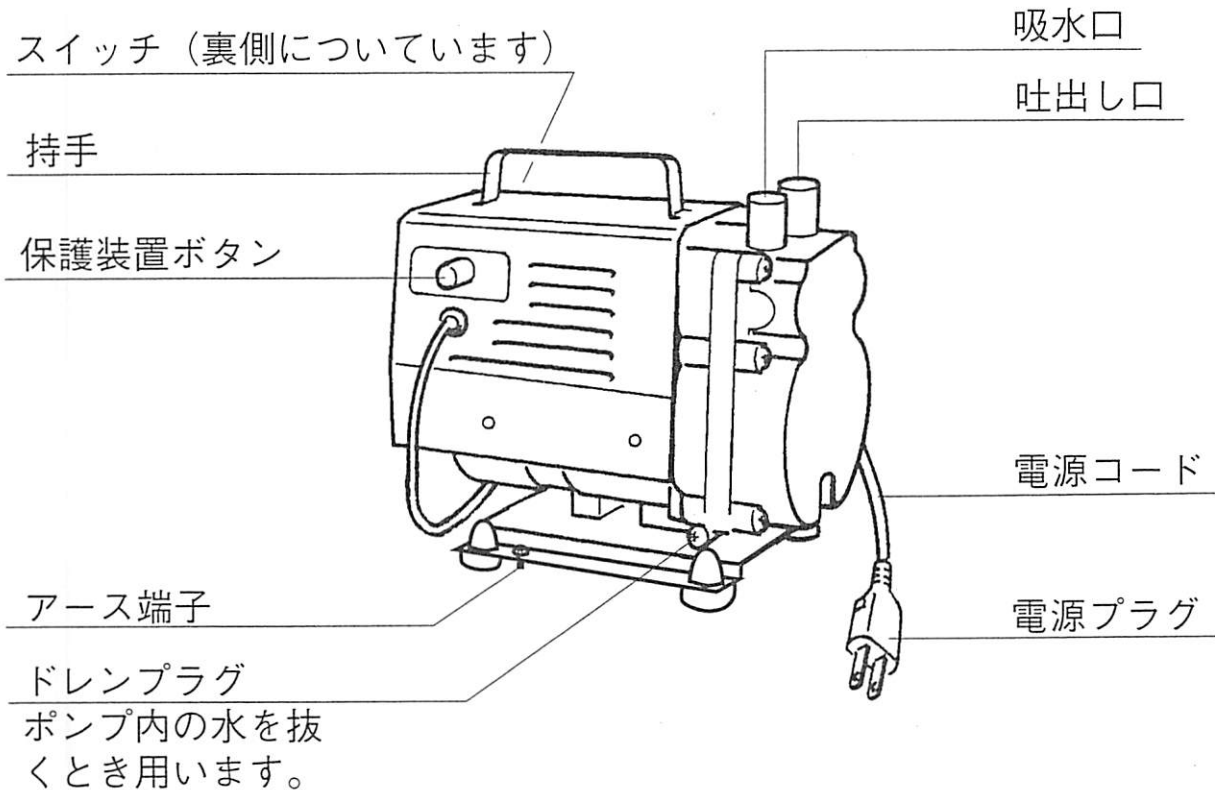
## 付属品

品名 \ 形式	HP-50	HP-100	HP-200
吸込みホース	15mm×1.8m…1	15mm×1.8m…1	—
ホースカップリング	—	15mm用…2組	25mm用…2組
ホースバンド	15mm用…2	15mm用…2	25mm用…3
ストレーナ	1	1	1
アース線	1.25mm <sup>2</sup> ×3m…1		

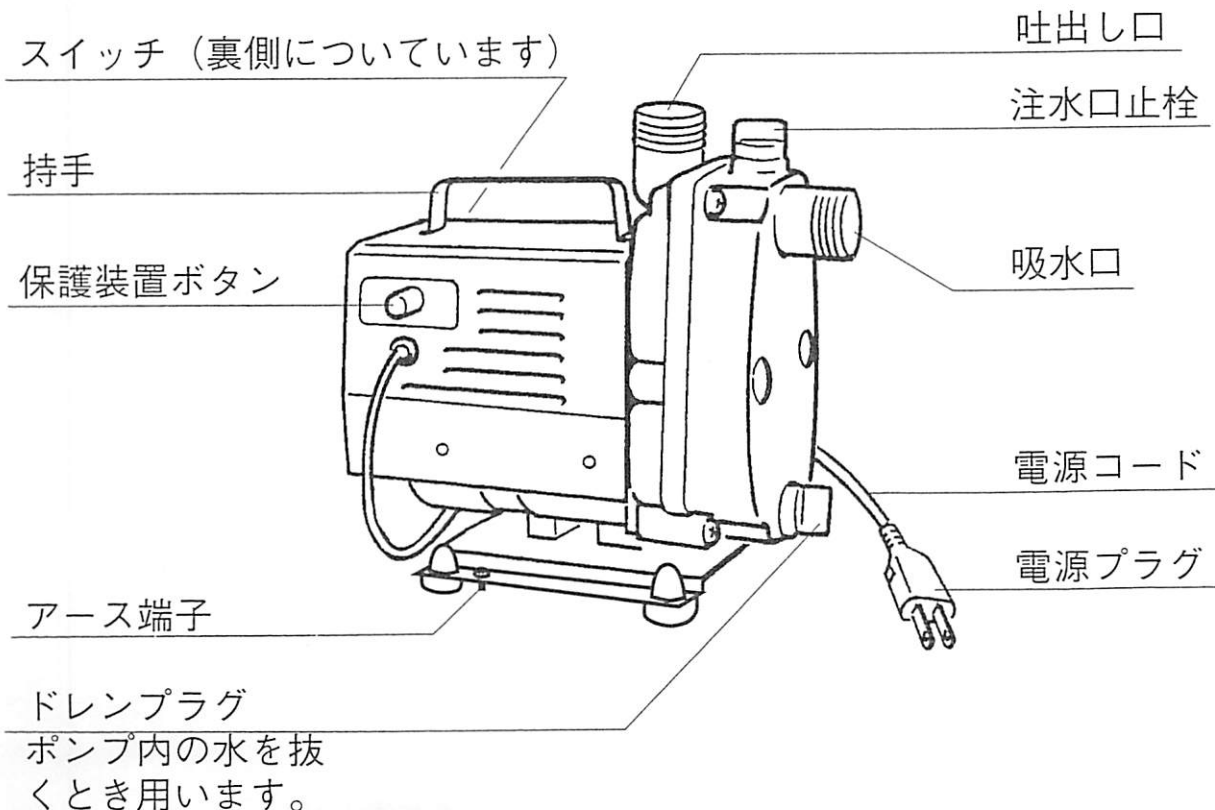
※ HP-100の付属品は15mmホース接続用です。  
25mm接続用部品は別売となります。

# 各部の名前とその働き

## HP-50



## HP-100・HP-200 (図はHP-100)





# お使いになる前に

## お願い

1. 使用水温は5～50℃（HP-200は5～40℃）の範囲です。
2. 設置場所の温度は40℃以下（HP-200は30℃以下）で風通しの良い場所を選んでください。
3. このポンプは屋内用です。雨などのかかる屋外で使用しないでください。
4. 空運転（ポンプに水を入れずに運転すること）はしないでください。
5. 電動機部に水をかけないでください。
6. 寒冷地でご使用されるときは凍結にご注意ください。又、長期間運転されないときはドレンプラグより水を抜いてください。

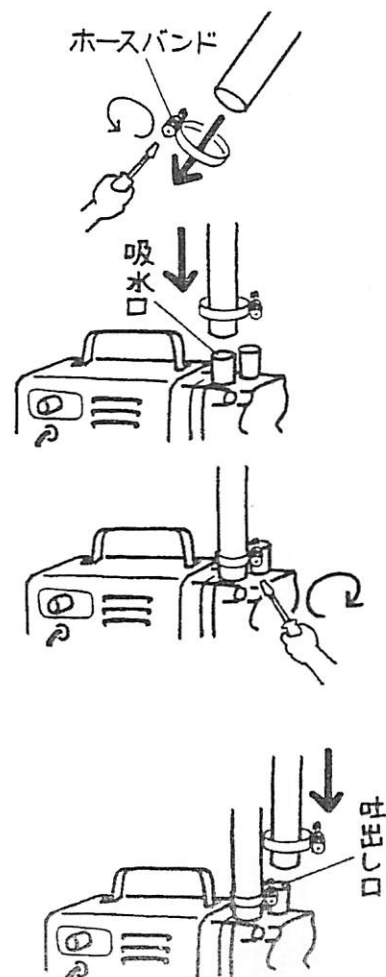
## 確認・テスト

1. ご注文通りのものかどうか銘板を見てご確認ください。
2. 破損箇所やねじのゆるみがないかご確認ください。
3. 使用する前に電源に接続し、ポンプに異常がないか、電圧に異常がないか、テスト運転してください。（テスト運転は5秒以内にしてください。）

## ホースの取り付けかた

### HP-50

1. ホースバンド（付属品）を吸込みホース（付属品）に差し込んでください。  
ホースバンドのねじをまわしてホースを通せるように調節し、ホースに差し込んでください。
2. 吸水口にホースを差し込んでください。  
ホースを吸水口の根元までしっかりと差し込んでください。差し込みが不十分ですと、空気をすい込み揚水できません。
3. ホースバンドでホースを締め付けてください。  
ホースの先端から約10mmくらいの位置で、ホースバンドのねじを工具でまわして、ホースをしっかりと固定してください。
4. 吐出し用ホースは内径15mmのものをご用意ください。
5. 吐出しホースにホースバンドを差し込んだ後、吐出し口の根元までしっかりと差し込んでください。  
ホースの固定は、吸込みホースと同様（3.の項参照）にしてください。

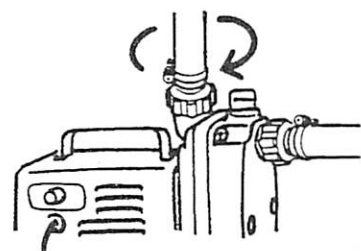
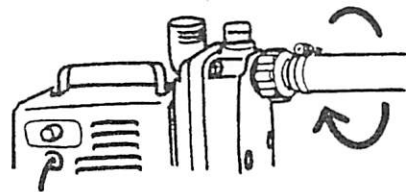
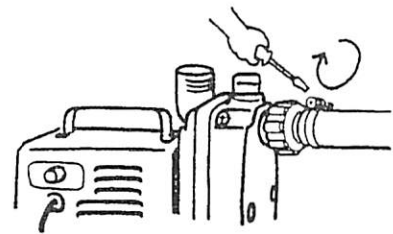
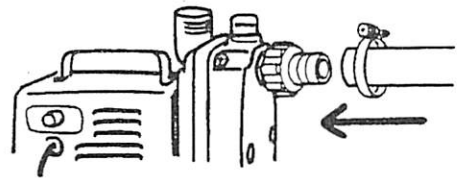
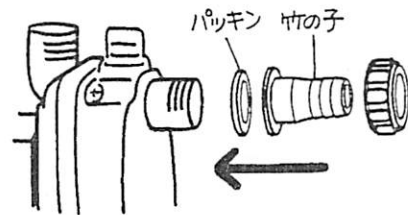


# お使いになる前に

## ホースの取り付けかた

### HP-100・HP-200

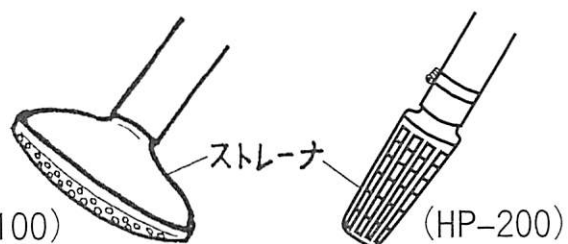
1. ホースバンド（付属品）を吸込みホース（HP-100は付属品、HP-200は内径25mm全長3m以下の吸込み用ホースをご用意ください。）に差し込んでください。  
ホースバンドのねじをまわしてホースを通せるように調節し、ホースに差し込んでください。
2. ホースカップリングを吸水口にねじ込んでください。  
ホースカップリングに竹の子を入れてからパッキンを入れ、吸水口にねじ込んでください。
3. ホースを竹の子に差し込んでください。  
ホースを竹の子の根元までしっかりと差し込んでください。差し込みが不十分ですと、空気をすい込み揚水できません。
4. ホースバンドでホースを締め付けてください。  
ホースの先端から約10mmくらいの位置で、ホースバンドのねじを工具でまわして、ホースをしっかりと固定してください。
5. ホースカップリングをしっかりとねじ込んでください。
6. 吐出し用ホースは、HP-100は内径15mm、HP-200は内径25mmのものをご用意ください。
7. 吐出し用ホースは、使用ホースに合ったホースバンドをご使用のうえ、吸込みホースと同様（1.～5.の項参照）にして取り付けてください。



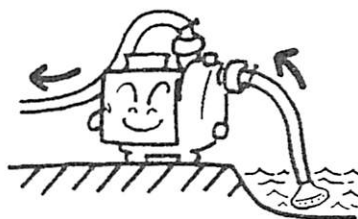


# 据え付け

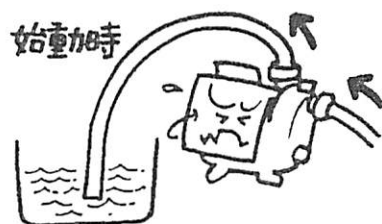
1. 吸込みホース先端には必ず付属のストレーナを取り付けてください。



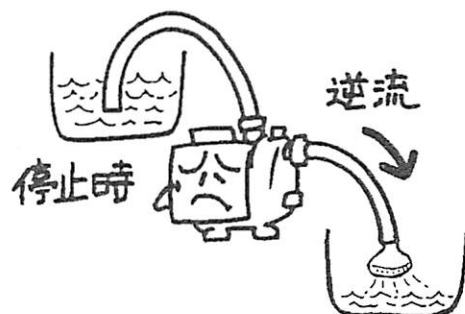
2. ポンプはできるだけ吸水源に近づけてご使用ください。  
吸上げ高さは2m以下(HP-200は3m以下)でご使用ください。



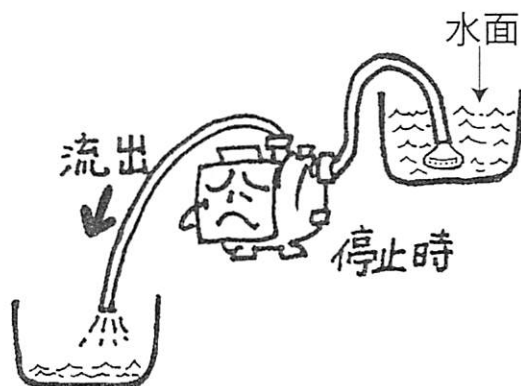
3. ポンプ始動時の排気ができなくなりますので、吐出しホースの先端は水中に入れなくてください。



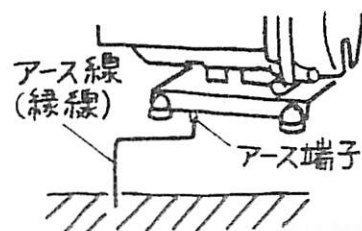
4. 吐出しホースの先端は、吐出し側の水中に入らない位置に設置してください。  
ホースの先端が水中に入っていると、ポンプ停止時にサイホンの作用で水が逆流します。



5. 吐出しホースの先端が、水面より低い場合ポンプ停止時でもサイホンの作用で水が流出します。

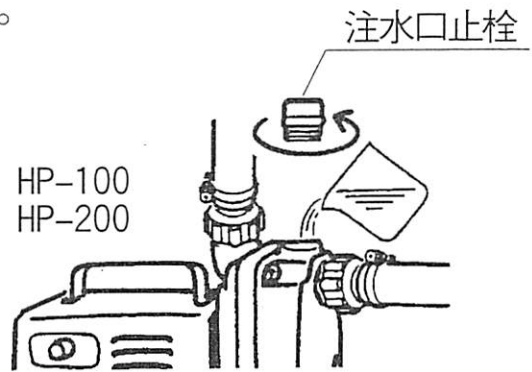
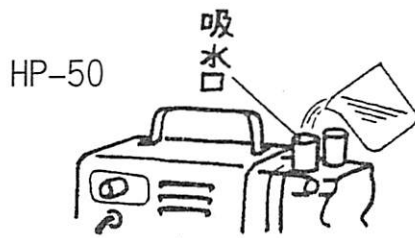


6. ポンプ据え付け後、アース端子に付属のアース線(緑線)を接続し、これを接地してください。  
(電気工事業者による第3種接地工事が必要です)

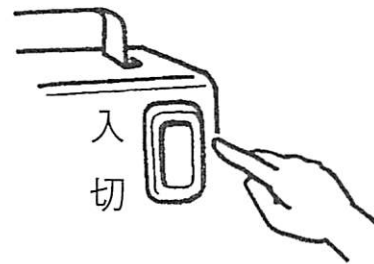


# 運転のしかた

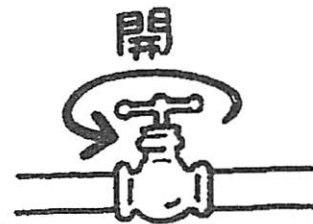
1. ポンプ本体上部の注水口止栓をはずし、ケーシング内に水をいっぱい入れ止栓をしめます。  
(HP-50は吸水口より注水してください)



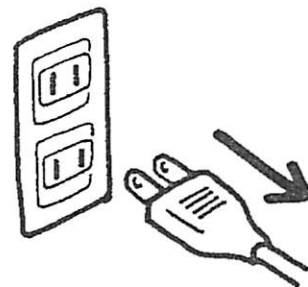
2. スイッチの「切」状態を確認の上、電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチの「入」を押してください。2～3分後に揚水を開始します。



3. 吐出し側にバルブがある場合は少し開いてポンプを始動してください。(バルブが閉っていると空気が抜けず揚水しません。)  
また、締切運転(バルブを閉じたままでの運転)は行なわないでください。(ポンプの故障ややけどの原因になります。)



4. スイッチの「切」を押せばポンプは停止します。使用されない時は、電源プラグをコンセントより抜いておいてください。絶縁劣化による漏電や火災の原因になります。



## お願い

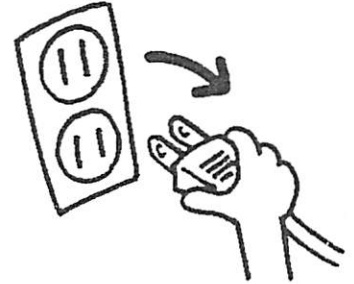
1. このポンプには電動機の保護装置として手動復帰式サーマルプロテクタをつけています。運転中にポンプが停止したときは、しばらくしてからボタンを押してください。再度ポンプが停止した場合は、電源プラグをコンセントより抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
2. 保護装置のボタンは連続的に押したりテープで固定しないでください。

## お手入れと点検

### ⚠ 警告



- 掃除や点検をするときは、電源プラグを抜くこと



感電したり、ケガの原因になります。

- 1.掃除をするときは柔らかい布でふいてください。  
シンナー、クレンザー、酸類、熱湯などは使わないでください。  
キズがついたり、破損の原因になります。
- 2.点検は1年に1回程度行ってください。  
ポンプやホースから水漏れがないか、騒音や振動の異常がないかを確認してください。異常がありましたら、電源プラグをコンセントより抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。

## 修理を依頼する前に

### ⚠ 警告



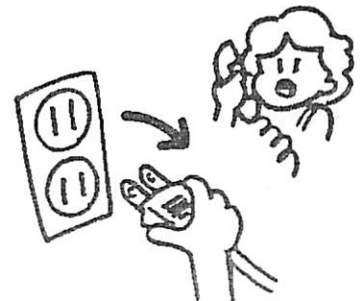
- 修理技術者以外の方は分解したり修理や改造をしないこと



異常作動をしてケガをしたり、感電、火災の原因になります。



- 動かなくなったり、異常がある場合は電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に連絡すること



そのまま無理に使用すると感電、火災の原因になります。

# 修理を依頼する前に

## お願い

「故障かな?」と思ったら、まず次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、電源プラグをコンセントより抜き、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。販売店へ連絡するときは、ポンプ銘板に記載の形式・製造番号、お買い上げ年月日と故障状況をお知らせください。

故障状態	故障原因	対策・処置
ポンプが回らない	停電している	電気工事店または電力会社に連絡する
	電圧が低下している	
	電源プラグのはずれ	確実に接続する
	スイッチの故障	販売店に相談
	電動機の故障	
	羽根車にごみかみこみ	
	保護装置が動作している	
自吸しない	ポンプ設置位置が高い	位置を低くする
	空気を吸っている	配管を点検する
	呼び水が少ない	ケーシングに補水する
	水路のつまり	ストレーナ・配管を点検する
	吸込みホースが変形している	硬質の管に変更する
	吐出し弁、排気弁が閉じている	弁を開ける
吐出し量が少ない	羽根車の摩耗	販売店に相談
	空気を吸っている	吸込みホース、水位を点検する
	ごみのつまり	販売店に相談
振動、騒音 が大きい	吸上げ高さが高い	設置位置を低くする
	ごみのつまり	販売店に相談
保護装置が動作する	電圧が低下している	電気工事店または電力会社に連絡する
	ごみをかみこんでいる	販売店に相談
	電動機の故障	

# 仕様

50/60Hz

形式	周波数 Hz	口径 mm	吐出し量 $l/min$	全揚程 m	出力 W	電圧 V	相	定格消費電力 W	質量 kg
HP-50	50	15	18	3	60	100	単	105	3.5
	60		25		80			130	
HP-100	50	25	30	4	80			130	3.9
	60		45		120				
HP-200	50	25	20	6	135			220	7.0
			50	3					
	60		40	6	210	300			
			65	3					

## 保証とアフターサービス

### 修理を依頼するときは

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。  
修理は専門の技術が必要です。

(保証期間中は)

修理に関しては保証書(13~14ページ)をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

(保証期間が過ぎているときは)

修理すればご使用できる場合にはご要望により有料で修理させていただきます。

### ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談やご不明な点はお買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にご相談ください。

なお、所在地は15ページをご参照ください。



# 保証書

品名 テラダセルプラハンデーポンプ	形式 HP-50, HP-100, HP-200
★お客様お名前  様	保証期間 ※お買上日 年 月 日から 1年又は清水での運転3,000時間 の短い方
★ご住所〒	★電話番号 ( ) -
※取扱販売店名、住所、電話番号	
(印)	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が修理いたしますので、修理をご依頼のうえ修理に際して本書をご提示ください。

保証期間の3,000時間は清水（異物を含まない水）での運転を基準としています。スラリー・土砂等の異物を含んだ水を揚水しますとポンプ寿命が著しく短くなりますので、ご注意ください。

★印、※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ず確認ください。

# 保証書

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - お買い上げ後の使用場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
  - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
  - 車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
  - 本書の提示がない場合。
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - 異常水質・異常水圧などによる故障および損傷。
  - 仕様変更など。
- 出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
Effective only in Japan
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

## ●修理メモ

●修理メモ
-----
-----
-----

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権限を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合はお買い上げの販売店または、お近くの当社営業所にお問い合わせください。

## 補修用性能部品の最低保有期間

テラダセルプラハンデーポンプの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

# 営業所一覧表

- 東京支社 〒116-0002 東京都荒川区荒川1-49-1 荒川第10秦ビル2F  
TEL 03-3803-1161(代) FAX 03-3803-1162
- 北関東営業所 〒360-0015 埼玉県熊谷市肥塚2丁目7番28  
TEL 048-523-2654(代) FAX 048-525-5216
- 仙台営業所 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町 3-33  
TEL 022-287-0231(代) FAX 022-287-0235
- 新潟営業所 〒950-0948 新潟県新潟市中央区女池南1丁目5番16号  
TEL 025-284-0011(代) FAX 025-284-1212
- 名古屋営業所 〒457-0004 愛知県名古屋市南区中江2丁目2番9号  
TEL 052-819-0188(代) FAX 052-819-0180
- 静岡営業所 〒420-0884 静岡県静岡市葵区大岩本町 26-32 パークサイト城北 1F-C  
TEL 054-200-1002(代) FAX 054-200-1003
- 大阪支社 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町2番1号 岡田ビル2F  
TEL 06-6763-1271(代) FAX 06-6764-5838
- 岡山営業所 〒700-0973 岡山県岡山市南区下中野 36-1 マン・エスホール C113号  
TEL 086-245-4497(代) FAX 086-245-7246
- 高松営業所 〒761-8078 香川県高松市仏生山町甲836番地1ガーデンハイツピュア 101号  
TEL 087-888-5118(代) FAX 087-888-5119
- 福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-10-23 第5西田ビル2F-E  
TEL 092-411-7555(代) FAX 092-411-7585
- 広島営業所 〒733-0861 広島市西区草津東1丁目1-6 第3松本ビル1F  
TEL 082-271-6505(代) FAX 082-271-6506
- お客様相談室 〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町3番17号  
TEL 0745-52-5101(代) FAX 0745-23-7155



株式会社 寺田ポンプ製作所

〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町3番17号  
TEL 0745-52-5101(代) FAX 0745-23-7155

<http://www.teradapump.co.jp/>